



山口 晋平

県政報告

第22号

2023年 新春

自分を磨く

山口 晋平

皆様におかれましては健やかに新春を迎えられたことお慶び申し上げます。

昨年は、長引く新型コロナウイルスの蔓延に加え2月に起こったロシアによるウクライナ侵攻も未だ収束が見えず、不安定な世界情勢によるエネルギー価格や物価高騰に翻弄され、「世界の中の日本・兵庫」を強く認識する年でした。

年末にはサッカーワールドカップで日本代表が素晴らしいプレーを魅せ、多くの日本人に感動を与えてくれました。前回大会でもそうでしたがプレーだけではなく、日本サポーターが客席を掃除して帰る姿、選手が使い終わったロッカールームを綺麗に掃除し折り鶴で感謝を示した姿、森保監督の姿、大変誇りに思いましたし、世界中から賞賛されました。

12月議会では過去最大の補正予算（新型コロナウイルス感染症第8波とインフルエンザの同時流行への備え、物価高騰影響の緩和、生活困窮者への支援、出産・子育て世帯の支援、こどもの安心・安全対策、中小企業への支援、観光需要の創出、農林水産事業者への支援、防災減災国土強靭



12月6日 本会議（代表質問）

化の推進、鳥インフルエンザ対策等）1,006億円を議決し閉会しました。（詳細は下部をご覧ください）



11月28日 揖龍地区農業を語る会にて

その12月議会、党派・自民党兵庫議員団」を代表して本会議で質問を行いました。

1. 令和5年度予算編成について
 2. 県庁周辺再整備について
 3. スポーツや芸術・文化の更なる振興について
 4. 県民生活の安全安心のための社会基盤施設の維持管理について
 5. 市街化調整区域における土地利用の促進について
 6. 円安を活かした地域の稼ぐ力の創出について
 7. 豊かな海づくり大会のレガシー継承について
 8. 社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット）の活動強化について
 9. 県立学校の環境整備について
- です。詳細は裏面をご覧ください。



自民党兵庫議員団

新年にあたり、それぞれが目標・抱負を持って新年を迎えられたと思います。私の抱負は「自分を磨く」です。何があってもおかしくない時代、その時に備えて自分身の幹を太く

すること、根を張ることを主眼に様々なことに取り組んでいきます。

今年の干支は癸卯（みずのと）です。その含意は「今までの努力が実り、失敗を恐れず新しいことに挑戦する」です。皆様方にとってそのような素晴らしい年になりますように心から祈念申し上げます。

12月議会で議決した補正予算

12月補正予算（概要版）

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk20/documents/r4_12hosei_hontai.pdf



12月補正予算（事業一覧）

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk20/documents/r4_12hosei_sanko.pdf



山口 晋平事務所

〒679-4109 たつの市神岡町東鷺崎 550-201
TEL 0791-65-1919 FAX 0791-60-3677
E-mail info@yamaguchi-hyogo.jp

山口 晋平 公式ホームページ

開設
しました!!
ぜひご覧ください



LINE

山口 晋平 公式アカウント



プロフィール

- ◆昭和52年11月10日生
- ◆たつの市龍野町島田生まれ
- ◆龍野市立小宅小学校
- ◆龍野市立龍野東中学校
- ◆兵庫県立龍野高等学校（48回生）
- ◆鳥取大学教育学部 総合科学課程理数情報コース卒業
- ◆平成12年7月より、衆議院議員 山口つよし秘書を務める
- 趣味：読書、ゴルフ 血液型：B型 好きな言葉：一期一会
- ◆平成28年4月 兵庫県議会たつの市及び揖保郡選挙区補欠選挙にて初当選
- ◆平成27年4月 当選（2期目）
- ◆平成31年4月 当選（3期目）
- ◆自民党兵庫県連 前青年局長
- ◆自民党兵庫議員団 政務調査会長
- ◆健康福祉常任委員会 委員

質問1 令和5年度予算編成について

Q まずは令和5年度予算編成について伺います。現場と対話を重視される知事にとって実質的に初めての予算編成になる。見直すべきところはしっかり見直した上で、効率的かつ効果的な予算となるよう編成を行っていただくことを求める。

A答弁 (答弁者 斎藤知事)
選択と集中を徹底し、生み出された財源の全額を新規事業に活用する新県政推進枠を昨年度より拡大。

質問2 県庁周辺再整備について

Q 県庁舎等再整備基本構想は一旦凍結された。具体的な庁舎の安全対策の決定は、2号館と議場棟の時刻歴応答解析の結果を待ってからとなる。経費節減、働き方改革の推進などの観点から、これまでの既成概念にとらわれず、県庁オフィスのあり方を根本から見直す必要がある。

A答弁 (答弁者 斎藤知事)
将来発生が見込まれる大地震等に備えて、早急に県庁舎の安全性を確保する必要があり、県庁オフィスのあり方や時代に合った働き方を検討。「県庁舎はどうあるべきか」ということを掘り下げる。

質問3 スポーツや芸術・文化の更なる振興について

Q スポーツや芸術・文化を所管する部署を知事部局に配置することにより事業実施に向けた機動性を高め、公民連携の取組を層押し進め、地域振興やまちづくりを展開し、ひいてはHYOGOの魅力・ブランド力を強化すべき。



A答弁 (答弁者 斎藤知事)
兵庫の強みであるスポーツや芸術文化のブランド強化に向けて、スポーツ担当部局の知事部局への配置も含めて、多角的な視点でしっかりと検討を進める。



12月4日 西はりま少女野球教室にて

質問4 県民生活の安全安心のための社会基盤施設の維持管理について

Q 社会基盤施設の機能を十分に発揮するためには、適切な維持管理が求められます。県の実質負担が増加しない範囲での事業費の振り替えにより、今年度予算で県単独事業に20億円を増額された。来年度以降も引き続き継続すべき。

A答弁 (答弁者 服部副知事)
消えかかっている区画線約3,000kmを5年間で引き直す計画。来年度以降も、この取組を継続して、安全安心な県民生活を支える維持管理の充実を図っていく。

質問5 市街化調整区域における土地利用の促進について

Q 斎藤知事就任後、市街化調整区域等の土地利用の推進策について、土地利用推進検討会を設置、今年4月には報告書をとりまとめられた。その検討会の結果を踏まえ、現在、都市計画審議会内に専門委員会を設置し、今後の対応が検討される。市街化調整区域における土地利用についてどのようなビジョンを描いているか。

A答弁 (答弁者 斎藤知事)
今年度、都市計画審議会に専門委員会を設置し、各市町が抱える課題や意向を把握、区域区分を廃止した他府県事例を分析し、廃止による影響等についても調査を行った。今後、区域区分廃止の意向を示している県内の市町をモデルとして、今年度末に区域区分の見直し方針を取りまとめる。市町の意向把握、調整等を行い、令和7年度末に都市計画区域マスタープランを改定する。

質問6 円安を生かした地域の稼ぐ力の創出について

Q 瀬戸内を囲む7県が参加するせとうちDMOは、積極的に観光促進に取り組んでいる。また3月には播磨自動車道が中国自動車道とも接続し、日本海側と瀬戸内海側における人の往来や物流面が改善された。2030年前後には神戸空港での国際定期便の運用も計画。インバウンドの本格的回復に向けた対策や国内投資の促進等、円安を生かした地域の稼ぐ力の創出について取り組むべき。

A答弁 (答弁者 斎藤知事)
インバウンド対策では、10月に欧米の富裕層向けにヘリやクルーズを活用する実証ツアーを実施。旅の高付加価値化による地域経済への波及効果を期待している。来年はG7の広島でのサミット、2025年には大阪関西万博と同時に瀬戸内国際芸術祭も開催が予定され、せとうちDMOや香川県等と連携した取組も検討している。



10月4日 せとうちDMOを訪れて地元議員と共に勉強会

質問7 豊かな海づくり大会のレガシー継承について

Q 大会の目的である「水産資源の保護・管理や水産業の振興・発展」に向けて、関係者、そして県民が力を合わせて取組を進めていく必要がある。本県では「栄養塩類管理計画」を策定し、瀬戸内海において窒素などの海の栄養分を増やす取組を推進。「豊かな森が豊かな海を作る」と言われるように、川上から川下まで、全ての県民への普及啓発・取組が必要。

A答弁 (答弁者 斎藤知事)
第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会については、去る11月13日、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、無事盛会のうちに開催。海に関する幅広い主体が参画する新たな推進母体として「ひょうご豊かな海づくり県民会議」(仮称)の設立につなげ、大会のレガシーが将来にわたり継承される形を行っていく。



兵庫ジャーナル 2022年12月12日号

質問8 社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット)の活動強化について

Q 人とのつながりは、日々の暮らしの中で、特に困難に遭遇した時、窮地に陥った時に、その大切さを思い知らされる。支援が必要な方が置かれている状況は様々であり、課題を解決するため、県内の市区町域で「社会福祉法人連絡協議会」を設立し、解決を図る取組が行われています。誰も取り残されない社会を目指すためには、「ほっとかへんネット」の活動を強化していくべき。

A答弁 (答弁者 斎藤知事)
「ほっとかへんネット」は、「地域における公益的な取組」を、複数の法人が連携して取組むために設置された。全国的に先進的な取組であると、県としては評価。その活動が充実していくためには、活動のコーディネートを担う人材の確保が重要であることから、今後、県社会福祉協議会と連携して支援体制の強化を検討。

質問9 県立学校の環境整備について

Q 「躍動する兵庫」を支えるのは、人です。そして人を育てるのが教育。他府県に負けない教育環境を整備すべき。冷暖房設備について、選択教室・特別教室など早急に整備を進めるべき。体育館についても多くが避難所に指定されていることから、防災の面からも整備を進める必要がある。

A答弁 (答弁者 藤原教育長)
トイレ改修については令和5年度までに完成させる予定。空調整備については普通教室を優先して整備し、平成30年度には整備済。特別教室の整備を優先的に取り組み、令和10年度完了予定。体育館の空調整備についても、指定避難所の運営における被災者の熱中症対策等の観点からも、その必要性は認識している。厳しい財政状況ではあるが、計画的な整備に加え、予算確保に努める。



斎藤知事と



9月23日 新宮ひがな花まつり



11月6日 室津ふるさと祭にて



11月13日 自民党全国政務調査会長会議



11月20日 聖徳太子1400年御忌法要(斑鳩寺にて)